

【議事要旨】

会 議 名	令和3年度第1回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和3年7月28日（水）午後1時30分から午後4時30分
開 催 場 所	庁議室
委 員 員	<p>■出席者</p> <p>（委員長）大澤企画経営部長 （副委員長）新宮総務部長</p> <p>（委員）西川企画課長、宮本区役所改革担当課長、若杉財政課長、荒川総務課長、加茂契約管財課長</p> <p>（説明員）高嶋芝地区総合支所管理課長、櫻庭麻布地区総合支所管理課長、白井赤坂地区総合支所管理課長、山本高輪地区総合支所管理課長事務取扱、山本芝浦港南地区総合支所管理課長、金田高齢者支援課長、野上保健福祉課長、太田地域振興課長</p>
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	<p>審議事項</p> <p>1 指定管理者の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝地区港区立いきいきプラザ【資料1】 ・ 麻布地区港区立いきいきプラザ【資料2】 ・ 赤坂地区港区立いきいきプラザ【資料3】 ・ 高輪地区港区立いきいきプラザ【資料4】 ・ 港区立神明子ども中高生プラザ【資料5】 ・ 港区立高輪子ども中高生プラザ【資料6】 ・ 港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ【資料7】 ・ 港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂、港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂、港区立赤坂子ども中高生プラザ、港区立赤坂子ども中高生プラザ青山館【資料8】 ・ 港区立公衆浴場ふれあいの湯【資料9】 ・ 港区立区民斎場やすらぎ会館【資料10】
配 布 資 料	<p>（公募施設）資料1から資料8</p> <p>資料○ 指定管理者候補者選定調書</p> <p>資料○-2 指定管理者候補者選考委員会報告書</p> <p>資料○-3 指定管理者応募者提案内容の比較表</p> <p>資料○-4 職員配置表</p> <p>資料○-5 選考委員会採点表</p> <p>資料○-6 選考委員会議事録</p> <p>資料○-7 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）</p> <p>（非公募施設）資料9から資料10</p> <p>資料○ 指定管理者候補者選定調書（非公募用）</p> <p>資料○-2 指定管理者指定申請に対する審査表</p>

	資料〇-3 職員配置表 資料〇-4 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）
会議の結果及び主要な意見	
(意見者)	1 指定管理者の選定について
高嶋芝地区総合支所管理課長	・港区立神明子ども中高生プラザ (資料について説明)
若杉委員	資金・収支計画書について、全体の職員数は現状とほぼ変わらないと思うが、人件費が相当上昇している印象がある。現在の職員人件費はおおよそ8,800万円程度だと思うが、2割程度上昇している。定員増の問題もあるかもしれないが、上がり幅が妥当なのか、教えていただきたい。
高嶋課長	令和4年度以降、学童クラブの定員が60名から110名に増加する。具体的には二つの部屋に分かれて運営する形になることから、常勤の学童指導員を増員する提案を受けており、それに伴う人件費の増である。
若杉委員	第2回選考委員会の議事録にもあるが、他地区の中高生プラザと比較して本部経費の確認状況について補足があるか。
高嶋課長	本部経費は、それぞれの法人が算出しており、算出方法は法人の考え方によって異なる。選考委員会でも法人の本部経費については、妥当性を確認している。指定管理者候補者として選定された後、指定管理料について、法人との協議の中で精査していきたい。
若杉委員	体制について、定員増に伴う人件費の増加ということだが、子供たちが安全で快適に過ごせることは第一ではあるが、職員の過大配置にならないよう、所管課の予算要求の段階や査定、年度協定締結時など、随時、しっかりと確認していきたいと思う。
高嶋課長	承知した。
荒川委員	学童クラブの定員増について、体制上問題ないか選考委員会でも議論になっているが、具体的にその不安を払拭する策があったのか。
高嶋課長	部屋の使い分けや、子どもたちが快適に過ごせるルール作り等、非常に具体的な提案があった。納得できる中身になっている。
荒川委員	選考委員会の議事録にもそのような記載があるか。
高嶋課長	第3回選考委員会の議事録の1から2ページに記載している。
西川委員	障害者雇用率が未達成であることについて、法人にどのように働きかけていくか。

高嶋課長	障害者雇用率の達成に向け、事業者との定例的なモニタリングや会議等を通じて、定期的かつ継続的に、働きかけていきたい。
宮本委員	第2回の選考委員会の議事録において、現行事業者が第三者評価を受けており、子どもの言い争いに職員が入ってくれないという回答があり、子どもの言葉に耳を傾けようとしているのかが現事業者の課題だと思うと記載があった。その対応状況は。
高嶋課長	<p>現施設長からは、意識の向上も含めてしっかりと、前向きに取り組んでいく旨の話があった。</p> <p>今現在、対応に手がかかる子どもがいると、そちらに目がいきがちだが、手のかからない子どもにも意識を向けていく必要があり、全体に目を向けて対応していくなど職員のプロとしてのスキルアップを図るといった具体的な話もあった。</p>
宮本委員	同様に、第2回の選考委員会の議事録において、職員に対するメンタルヘルス等のフォロー体制について記述がないという指摘があった。その対策と確認状況は。
高嶋課長	職員研修も含めて、職員へのフォローはよくできている法人である。具体的には他施設の先輩職員が相談役となるメンター制度の導入や、3か月に1度心身の状況についてのアンケート等を実施している。
新宮副委員長	選考委員の女性比率について、選考委員のうち女性が1人しかいなかった。今後は女性委員の比率向上について意識していただきたい。
高嶋課長	承知した。
新宮副委員長	資金・収支計画書の修繕費について、5年間で上昇率が大きいとその理由は。
高嶋課長	<p>施設の老朽化に伴う対応であり、その経費を見込んでいる。</p> <p>ファシリティマネジメントも踏まえて、区が実施する部分と指定管理者が実施する部分を切り分けた上で、事業者が計上している。修繕費は清算項目であるが今後協定を締結する際に確認していきたい。</p>
大澤委員長	費用の精査など今後確認する部分もあったが、本件について了承ということでよろしいか。
(全員)	(異議なし)